

重症心不全患者における最高酸素摂取量と 6分間歩行距離の乖離例の存在とその特徴

1. 研究の対象

2019年2月～2024年3月において当院入院中に心大血管リハビリテーションが処方され、心肺運動負荷試験を実施した方

2. 研究目的・方法

日本において心疾患は死亡原因の第2位に位置づけられ、中でも心不全は5年生存率が50%と低くなっています。心不全患者さんに生じる大きな問題の1つとして、運動耐容能(体力)の低下があります。運動耐容能の評価指標とされる最高酸素摂取量(peak V_{O2})と6分間歩行距離(6MWD)は相関することが報告されていますが、peak V_{O2}が低値にも関わらず6MWDが保たれている患者さんがいらっしゃいます。これら2つの指標が乖離する原因は未だ明らかになっておらず、乖離している方達においてどのような特徴やリスクがあるのかはわかっていません。この研究によりpeak V_{O2}と6MWDが乖離する心不全患者さんがどのくらいいて、またその特徴が明らかになれば、この患者さん達に対する適切な治療内容や運動内容の決定に役立つと考えられます。本研究は、2019年2月1日から2024年3月31日の間に当院に心不全で入院し、心大血管リハビリテーションが処方された方のうち、心肺運動負荷試験を実施した方を対象としています。対象者のカルテから検査結果等のデータを収集し、上記の疑問を解決するためにデータの比較や考察をしていきます。

研究実施期間：研究実施許可日～2026年3月31日

情報の利用を開始する予定日：2024年10月2日

3. 研究に用いる試料・情報の種類

基本情報(年齢、性別、診断名)、各種検査結果(血液検査、心エコー、心臓カテーテル検査、心肺運動負荷試験)、身体機能(握力、歩行速度など)等。

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

研究責任者：

秋田大学医学部附属病院リハビリテーション部 理学療法士 宮本 大道

連絡先：〒010-8543 秋田県秋田市広面字蓮沼 44-2 [TEL:018-884-6372](tel:018-884-6372)(直通)

試料・情報の管理について責任を有する者の氏名又は名称：

国立大学法人秋田大学大学院医学系研究科

研究科長 羽瀨 友則